

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	株式会社クロス・サービス	事業所名	ほのかのぬくもり
所在地	(〒790-0952) 愛媛県松山市朝生田町7丁目13-28		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・相談窓口として機能できるよう、どんな病態の方にもまずは相談にのっている。
- ・ご利用者、一人一人の現状に合わせた支援ができるようにしている。
- ・ぬくもりという名前にあるように、職員だけでなくご本人・ご家族相互で関係が深まりホッとできるような雰囲気作りを心掛けている。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 8 月 10 日	従業者等自己評価 実施人数	(10) 人 ※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 8 月 27 日～2025 年 2 月 27 日(開催)	出席人数 (合計)	(10) 人 ※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	☐ 自事業所職員 (2人) ☐ 市町村職員 (1人) ☐ 地域包括支援センター職員 (1人) ☐ 地域住民の代表者 (2人) ☐ 利用者 (2人) ☐ 利用者の家族 (0人) ☐ 知見を有する者 (0人) ☐ その他 (2人)		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ．事業運営の評価 (評価項目 1～10)		継続して感染対策委員会を定期的に開催し、感染拡大予防対策の研修や訓練を行う。災害避難訓練については水害・地震・火災それぞれ避難訓練を行い夜勤者も含めた全職員が理解し対応できるようになる。	・感染対策委員会を年4回開催し、職員へは年2回の研修と訓練を実施している。(BCPについては机上訓練を行った) ・災害避難訓練では水害(5月)、地震(12月)、火災(1月)実施を計画し、可能な限り夜勤者も参加してもらっている。	・事業所内でコロナの発生があったが、初期対応で個室隔離(感染対応)、自宅対応などを実施し感染拡大する事は無かった。感染症BCPについては机上訓練を行い、行動の見直し、意見交換を行った。 ・5月に水害時避難、12月に地震(シェイクアウト)を実施し、火災訓練は1月に消防立ち合いにて実施予定となっている。
Ⅱ．サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	ミーティングで行うライフサポートプランの話し合い以外でご利用者個々の介護担当者・看護担当者間で、家族を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントができていないか、毎月の経過記録を通じて個々の担当者に対し、リーダーが指導・助言していく。3ヶ月に1回アセスメントの勉強会をする。	・ライフサポートプランについてのグループワークだけでなく、ご利用者への関わり方・ケアの統一、周知する話し合いを行った。 ・看取りについて意見交換を行い、在宅(事業所)としてご利用者・ご家族への関わり・対応の振り返りを行った。(状態の変化に応じた対応を含めた)	・意見交換を行うことで、スタッフのご利用者へ対する思いや、状態把握状況、距離感などを知ることができ、スタッフ間での情報共有ができた。(申し送りなどでは知れない情報を得る事ができた) ・看取りに対する考え方も個々で異なっており、話し合いをすることで、家族の思いを受け止めた事業所(在宅)としての対応・方向性を見出せたように思う。 ・アセスメントの勉強会としては、取り組めていないが、実例をもとに振り返りを行うことで、客観的に評価・分析できた様に思う。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	他事業所と行き来し、困りごとや対応、取り組みなど情報交換し連携を図っていく。	・退院後、事業所利用となった方や入院治療されることになった方など、病院の地域連携室の相談員と連携を図り、情報共有や支援へ繋げている。 ・ST、OTとの連携をとり職員が言葉の訓練や生活リハビリを行っている。	・体調の変化に応じ、病院通院から訪問診療へ切り替えるための連携、対応を行った。また、転倒し、入院となったご利用者のかかりつけ医と入院先の病院との連携、情報共有、対応等を行った。 ・ご利用者の状態に応じて医療機関、ご家族、訪問マッサージと連絡を取り状況を伝えたくてマッサージを行っている。

				・受診前には、FAX等で情報提供を行っており、毎月の報告書では、ご利用者の計画書に沿った状態報告を行っている。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	ご利用者と一緒に地域行事に参加する。 地域において世代間の交流の場となるよう年3回「もったいない市・何でも相談室」を開催する。 運営推進会議の記録について誰でも見ることができるようにかわら版に記載し情報発信していく。	・地域行事への参加として「運動会」「夏祭り」「地方祭」「フラワーアレンジメント」等を計画していた。 ・7・11・3月の「何でも相談室・もったいない市」の開催を計画。 ・園児との交流(敬老の日・ハロウィン・クリスマス)を計画している。	・地域行事に関しては、天候により参加できたもの、参加できなかったものがあった。 ・「何でも相談室・もったいない市」については、7、11月と開催できたが、地域交流の場とまではなれていない。次回、3月に開催予定である。 ・園児との交流は、イベント毎に関わっている。12月は、クリスマス会に参加予定。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		在宅生活支援についてインフォーマルサービスも含めた多様なサービスが提供できるよう、1ヶ月ごとの経過記録を通して目標の見直しや達成、提案、意見など情報共有しライフサポートプランにつなげていく。	・ご利用者の近所のスーパーや、お弁当屋さん、他事業所(社内事業所)に協力して頂き、気になる事があれば事業所へ連絡してもらう体制を取っている。 ・毎月、経過記録を担当者が作成しているが、記載内容が担当者によって異なる。記載内容の統一、CMが作成するライフサポートプランと連携が図れるような記載方法を検討し、指導していく。	・他事情所(社内事業所)のスタッフより、ご利用者が道端に座っているなどの連絡があり、すぐに対応できた事案があった。 ・経過記録の記載方法の見直しができていない。 CMと相談し、検討を進めていく。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		・事業所内でコロナの発生があったが、初期対応で個室隔離(感染対応)、自宅対応等を実施し感染拡大する事は無かった。感染症 BCP については机上訓練にて行動の確認、見直しなどの意見交換を行った。引き続き継続していく。 ・5月に水害時避難、12月に地震防災訓練(シェイクアウト)1月の火災訓練は消防立ち合いのもと実施した。火災訓練の際、携帯電話から通報。スピーカー機能を使い通報のやりとりを参加した全てのスタッフと聞き、対応を共有することができた。 ・運営推進会議で得られた要望、助言、意見交換などの内容がスタッフへの周知ができておらず、サービスの提供に反映されていないように思われる。	・今後も研修による BCP の周知、災害訓練への取り組みを継続する。また、運営推進会議の6月の議題として、BCP の周知、訓練を参加者とおこなう。 ・毎月行っているミーティングにて運営推進会議での内容、助言等を職員に相談し、運営推進会議ではミーティングの内容を報告し連動するような会議をおこなう。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	・ご利用者への関わりや、ケアの統一について意見交換を行い、申し送りでは知れない情報を共有することができた。 ・看取りに対する考え方も個々で異なっており、話し合いを通じ家族の思いを受け止めた事業所(在宅)としての対応の在り方・方向性を見出すことがきた。 ・アセスメントの勉強会では、「介護過程」について学ぶ時間を設けた。実践に活かされるには時間がかかることであり、リーダーやケアマネが中心となり、指導・助言を今後も継続していく必要がある。	・毎月のミーティングでのカンファレンスの時間をもうけ、ご利用者の情報の共有、アセスメントについての視点を統一する。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	・体調の変化に応じ、病院通院から訪問診療に切りかえるための連携や対応、また、転倒し入院となったご利用者の主治医と入院先の病院との連携、情報共有など医療機関との連携は図れていた。 ・必要時多職種によるサービス担当者会を開催し、ご利用者、ご家族の意	・地域の事業所とも連携がはかれるように情報発信や、運営推進会議への参加の声掛けを行っていく。

		向を確認、情報の共有を行うことができた。 ・他事業所との交流がほぼ無く(電話での対応のみ)、事業所に伺い見学や対話による情報交換などができれば良かったと思う。	
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	・認知症、独居のご利用者が、近所のスーパーに買い物に行かれるため、トラブル等あれば事業所に連絡して頂くよう連携をとっている。 ・地域行事に関しては、天候により参加できなかったものもあったが、可能な範囲でご利用者と参加した。 ・「何でも相談室・もったいない市」を開催することができた。 ・ジャックと豆の木園の園児との交流を再開することができた。(敬老の日、ハロウィン、クリスマス、発表会見学など)	・地域において世代間の交流の場となるよう年2回「もったいない市・何でも相談室」を継続して開催する。 ・今後も園児との交流を計画的に継続していく。(年間予定を園と一緒に作成する) ・ご利用者と一緒におこなう朝生田公園の花壇の手入れを継続する。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		・事業所内、ご自宅、どの様な場合であっても、希望に応じた看取りを在宅医の力を借りて行えた。 ・今後もご利用者の意向や状況を理解し、安心して生活が送れるように支援するため、時間をかけてアセスメントする必要がある。	・ご利用者お一人お一人の関わりを見える化できるような取り組みとして、エコマップを作成する。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およ そで きて い る	あま りで きて い な い	全 く で きて い な い		
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○			・積極的に家族との情報共有を行っていることが伺えました。 ・サービスを調整しながら出来るだけ自宅で過ごせるように工夫されていると思います。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「およそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○			・理念を学んだ上で、目標をたて、実践が出来ていると思います。 ・全職員への周知は大変かと思いますが、今後も続けて頂き協力し合える関係づくりをお願いします。	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		○			・職員教育のための教育体制や仕組みづくりに力を入れていることが分かりました。 ・各自で目標を決めて取り組んでおり、アドバイスや指導があり、安心して働くことが出来る環境だと思います。 ・各自で目標を決めて取り組んでおり、アドバイスや指導があり、安心して働くことのできる環境だと思います。	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			・年間計画を立てたり、法人での研修体制も整っていたりと取り組みは良好だと思います。 ・各自で研修計画を立てる取り組みも良いと思うが、回数が平等になるような配慮もお願いします。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		間を設け実施している。					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		○			・情報共有が難しい中でも工夫して実践していることが分かりました。 ・情報の共有に差が出ないよう今後も声かけをお願いします。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
③ 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提		○			・コロナ禍で交流や活動が難	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	供等に反映させている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 地域とのつながりの中で公園花壇の世話や今年に至ってはコロナ禍を過ぎ「もったいない市」を開催することができた。運営推進の内容がサービスの提供に反映されているものが少なく感じる為、今後はミーティング等で報告を行い反映できるよう努力していく。				しかったと思いますが、その中でも行事の開催等、事業所として出来る事を行っていることが伺えました。 ・今後も地域との繋がりを大切にして下さい。 ・もったいない市について推進会議への情報不足が感じられる。企画不足、PR 不足がある。地域での魅力が感じられない。	を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			・就業環境の整備を積極的に行っていることが伺えました。 ・お互いが協力し合いながら業務に取り組んで下さい。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		シフト作成前に職員の希望休を取り入れている。シフト作成後も急な休み希望に対し、柔軟な変更もできている。 個々で担う業務内容や負担に偏りを感じる事もあるが、職員間で協力し合い業務を終わらせる事ができている。 産休・育休制度も現在利用している。 先輩からの配慮ある声掛けや、不慣れな職員に対して、ケアを一緒に行い負担と					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		ならないよう、また安心して働けるよう 努めている。					
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随 時更新を行うとともに、必要 に応じて職員間で迅速に共 有できるよう工夫されてい る		○			・情報の共有を迅速に行う為 の工夫が見られました。今後 も基盤整備等積極的に取り組 んでいただけたらと思いま す。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間 で迅速に共有するための工夫」の 2つの視点から、充足度を評価し ます
		[具体的な状況・取組内容] 申し送り、タブレット(F T)を活用し情報 共有を行っている。 新しい情報や、注意する点等ノートを活 用し全員で情報共有している。 早急に共有すべき情報はF Tや LINE 等 を用いて対応している。					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者 等および職員の安全確保の ため、事業所においてその具 体的な対策が講じられてい る		○			・事業所内、車内共に多方面 から事故防止に努めているこ とが伺えました。 ・ダブルチェックは今後も続 けて下さい。 ・職員、利用者」を守るため にもできれば送迎車2台とも	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」 の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、 例えば「医療・ケア事故の予防・ 対策」、「交通安全」、「夜間訪問時 の防犯対策」、「個人情報保護」な どが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] 医療ケアで事故をしない様職員同士でダ ブルチェックを行い事故防止に努めてい る。 不安に思う時は助言を行う、一緒に解決					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		策を検討するなどの対応をしている。 事故報告書やヒヤリハット報告を用いて 安全対策への対応、周知を行っている。 また、ミーティングで月に起こった事 故報告の振り返りを行い、対策が妥当で あるか検討、同じ事故が起こらないよう 努めている。 送迎車2台のうち、1台にはドライブレコ ーダーを設置。防犯としては、事業所内 に防犯カメラを設置している。				にドライブレコーダーをお願い します。	
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時において も、サービス提供が継続でき るよう、職員、利用者、関係 機関の間で、具体的な対応方 針が共有されている			○		・連絡体制を整備し、情報共 有の体制づくりは良好だと思 います。 ・災害はいつ起こるか分から ないので、訓練は継続して下 さい。 ・日頃からあらゆる想定した 危機管理が必要。(阪神大震災 の時、社員に自転車でユーザ ーの安否確認をさせた臨機応 変の対応が評価された：車、 バイクが使えなかった為)	✓ 「緊急時におけるサービス提供の ための備え」について、充足度を 評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、 「連絡先リストの作成」、「医療材 料などの確保」、「災害時ケアのマ ニュアル化」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○			- 積極的に家族と情報共有を行えていることが伺えました。今後の課題も分析できしており、積極的な姿勢が見られました。 - アセスメントの研修は引き続き行い、今後も継続をお願いします。 - 共通の整理された確認項目の共有化が必要なのではないでしょうか。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○			・それぞれの立場に基づいた意見が出せており、取り組みは良好だと思います。今後も意見を出しやすい場をつくり、情報共有に努めて下さい。 ・今後も情報共有をお願いします。	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			・家族からの意見を積極的に聞き取り、計画作成に活かしていると思います。今後も状況の把握や意見交換をお願いします。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○			・リハビリ職員と連携し、利用者の状況に合わせて、柔軟に取り組んでいる様子が伺えました。 ・本人に合わせて対応することを今後も続けて下さい。	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○			・今後も関係各所と連携し、適切に取り組んでいただけたらと思います。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成する

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		病状の変化の予測は、看護師から介護職に分かり易く説明している。					ことが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		○			・状況に合わせて柔軟な対応が出来ていると感じました。 ・取り組み内容に問題はないと思います。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ご利用者の状況変化によりケアやサービス内容の変更など適宜計画へ反映している。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○			・今後も状況に合わせて適切に取り組んでいただけたらと思います。 ・本人、ご家族の予定もあると思いますので、曜日の偏りがあるのは仕方ないともいます。予測できる場合は、職	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		[具体的な状況・取組内容] 医療依存度が高い方で、ご家族が就業されている方は通いメインでの対応になる。 泊まりが過度に偏っているご利用者もい					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		るが、各ご家庭に応じた対応が出来ていると思われる。 曜日によって通いや泊まりの偏りがあるが、訪問を増やすとスタッフの負担が大きくなるのが、現状。				員の人数調整を行い、職員の負担が偏らないよう気をつけて下さい。	
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○			・関係各所と連携し、情報共有が出来ていると思います。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ご利用者等の状況変化など主治医、歯科医、リハビリ職員、薬局、生活保護課、地域包括支援センター、成年後見制度保佐人、成年後見人などと情報共有できている。					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		○			・状況に合わせた柔軟な対応が出来ていると思います。今後も各職種と連携し、利用者さんの変化の対応をお願いします。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活か
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 介護職が少ない分、看護師が送迎、訪問介護、入浴、調理など業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行っている。 医療依存度が高い方が多いため、異常の					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		早期発見ができるように、看護師より適宜介護職へ指導を行いながら利用者について理解を深め対応出来ている。				・職種間連携できており良いと思います。定期的に役割分担の見直しをお願いします。	した役割分担や、業務の状況等に 応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている		○			・家族、職員との連携が綿密に取れていることが伺えました。今後も適切に取り組んでいただけたらと思います。 ・状況に合わせて対応することを続けて下さい。	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、		○			・看護職、介護職と連携し、	✓ 「看護職の専門性を活かした、介

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおそ できて いる	あまりで きていな い	全く できていな い		
	疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復など の観点から、情報提供や提案 等を行っている					利用者ごとに起こりうるリ スクに対応していることが 伺えました。	護職への情報提供や提案等」につ いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割の 1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく説 明し、利用者等の理解を得て いる		○			・利用者、家族が安心してサ ービスを利用できるよう、丁 寧に取り組んでいることが 分かりました。 ・声かけや説明は都度行って 下さい。	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 疾患について介護職に分かるように看護 師より補足説明をしている。 誤嚥性肺炎の既往のあるご利用者に対し ては、予測も踏まえて食事時の姿勢、食 事形態、嚥下状態、ムセの有無、口腔ケ ア、食後臥床のベッドアップの必要性等 注意点を介護職に説明をしている。 また、看取り期や病状予後予測など、介 護職に情報提供している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		者には、必ず理由も含め説明し納得して いただいている。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅 での療養生活の継続に向け て留意すべき点等について、 分かりやすく説明し、利用者 等の理解を得ている		○			・理解を得るために丁寧に説 明したり、情報共有に努めたり していることがわかりまし た。評価のとおり、今後も 適切な対応をお願いします。 ・丁寧な説明を今後も心掛け て下さい。	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 契約時にケアマネ、管理者が説明しているが、理解を得ているかは不明。 また、状況に応じて都度説明している。 継続的な医療ケアが必要なご利用者に対し、生活上の注意点など説明し次回の訪問看護師にもその情報が共有できるよう日報に記録を残し、グループラインで情報共有しご利用者に繰り返し説明することで理解を得ている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や 医療機器の取り扱い方法、家 族等が行うケアの提供方法 等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			・情報を丁寧に伝え、サポートが出来ていると感じました。今後も主治医、事業所、家族との連携に努めて下さい。	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 主治医から指示があった場合、家族へ連絡し状態・状況を説明した上で、ケアの対応について分かりやすく伝えるよう心					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		掛けている。また、言葉で伝えるだけでなく、文章（連絡ノート、メール等）でも伝えるようにしている。 吸引・注入方法など家族に指導、モニタリングでその後の追いかけてもしている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		○			・関係各所と連携しながら、適切に対応している様子が伺えました。今後も利用者の希望の沿ったサポートに努めて頂けたらと思います。 ・問題ないと思います。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 今年度は 1 名独居ご利用者、成年後見人を通じてサービス提供に反映している。家族と連携を図り、状況の説明を行いサービスは提供できている。 本人の楽しみや、希望を理解しながらサポートしている。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○			・利用者本人の意向を汲み取った積極的なサポートが出来ていると感じました。今後も家族と連携し、状況に合わせて取り組んでいただけたらと思います。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 連泊の多いご利用者に対し、在宅生活の継続の可否を検討。ご家族と相談・協力を依頼し、訪問を増やす事で在宅生活の					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおそ できて いる	あまりで きていな い	全く できていな い		
		時間を増やせたケースがあった。本人の気持ちを汲み取りながら在宅生活のサポートをしている。				・本人の気持ちに寄り添い対応できていると思います。都度話し合い気持ちの変化がないか確認を続けて下さい。	
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		○			・関係各所と綿密に連携を取り、丁寧にサポートしている様子が伺えました。今後も状況に応じて柔軟にご対応いただけたらと思います。 ・今後も何かあれば各職種と連携して対応するよう努めて下さい。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報	○					✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している					良く出来ていると評価します。	行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	○				良く出来ていると評価します。 「看取り」に対するご家族の意向に沿って、在宅で出来る事を提案し対応されたことが分かりました。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		意向の相違の無いよう話し合いの場を設ける様に努めている。					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○				✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・休日、夜間を含め、緊急時に即座に対応可能な体制にしている。(夜間でも当番の看護師が連絡を受け、対応できる体制) ・在宅医には、24 時間連絡可能になっている。救急時対応などの指示をうけている。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○			利用者全員に対応の必要性はないので、必要な人に対応できていればいいと思います。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがな
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・独居のご利用者の生活支援、今後の事についての話し合いを保佐人、地域包括支援センター相談員、市職員への情報提供や提案を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・定期的に会議を開催し、情報の提供、意見をいただいている。					い場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている			○			✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・議事録は作成しているが、周知しているスタッフは少ないと思う。周知の必要性がある。 ・市職員、地域包括支援センター、社会福祉協議会には議事録を送っている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている			○		交流がある事は評価できます。 地域に向けた事業所の PR 力 (アピール)、企画力の工夫が必要だと思われます。 頑張ってください。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・朝生田町内の保育園児と交流を図っている。9月の敬老の日にもはがきを持って来所され、ご利用者と一緒に歌をうたっていた。10月のハロウィンでも交流予定である。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・今年から「何でも相談室、もったいない市」を再開したが、事業所にてコロナが発生した為、縮小開催となってしまった。今後も開催予定である。					
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している				○ <u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・訪問看護ステーションを併設している為、登録者以外の方を対象とした訪問看護の実施は今後も予定はない。		✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○				評価できます。 (吸引を必要とする利用者を受け入れる体制が整ってい	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くでき

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		利用者がいる。その方以外にも、重症化したご利用者の痰吸引も実施できている。 ・夜間帯の訪問看護も対応している。				るとはいえ、どんな人でも受け入れできるわけではない。最低限のご家族への手技指導、実施が出来る状態でなければ、在宅としてのフォローは難しい。)	ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○			対応可能と思われます。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・現在、受け入れはしていない。 ・過去には受け入れの実績があり、必要時、いつでも受け入れ可能な体制である。					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○				今迄の状況などを聞く限りでも、充分対応できていると思われます。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・家族、医療機関と連携しながら、受け入れを行い、看取り支援している。 ・事業所、ご自宅、ご家族やご本人の希望に応じた看取り対応が可能な体制を心掛けており、今後も引き続き継続していきたい。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している			○		定期的に研修を行っていても理解が不十分。日頃からの職員の意識づけを継続して下さい。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		○				✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象とし

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							ている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている			○			✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや			○		近隣への関わりが難しい現状	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	向上のための具体的な取組等が行われている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・独居で在宅での療養生活を支えて行く為に、訪問介護、訪問看護に入りゴミ出しや、掃除、洗濯、買い物、庭の草引きなど、生活面でも支えている。 ・訪問や送迎時にご近所の方への挨拶を心がけている。 ・介護する家族への介助方法等、必要に応じて指導、支援しているが、ご近所住民に対しては、行えていない。				だが、いざという時(特に防災時)は近隣の方の協力が必要。日頃から積極的に関わりを持つためにも「挨拶」は大切です。	組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ミーティング内で意見交換を行い、個々に応じたプランを検討している。 ・リハビリとの連携で、利用者の力の引き上げが出来ている。指示を受けたことを、事業所内のスタッフが行っている。	取り組み内容に問題は無いと思います。引き続き適切にご対応いただけたらと思います。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・看護師が訪問することで、現状把握や医療処置の説明を聞くことが出来、また、不安な時はいつでも訪問看護が来てくれ、安心につながっている。 ・日中、夜間問わず、不安な時は看護師が	利用者が安心して過ごせるよう尽力されていると思います。引き続き適切な対応をお願いします。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

		訪問対応し、必要に応じて主治医と連絡を取り診察依頼している。		
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない [具体的な状況・取組内容] ・事業所内、ご自宅、どのような場合であっても、希望に応じた看取りを在宅医の力を借りて行えている。 ・ご自宅で永眠されたご利用者は、ご家族の希望された、最後まで口から食べさせたいという思いをくみとり、関わる事が出来た。(ご家族との意向の相違があったが、話し合いの場を設け、ご家族の希望する看取りを行うことが出来た)	日々の暮らしから看取りまで、利用者と家族に寄り添ったケアが出来ていると伺えました。 関係各所と連携し引き続き取り組みをお願いします。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」